

今、注目の
八幡高原周辺で
大自然を満喫しよう。

広島県山県郡北広島町東八幡原121-1
TEL0826-37-0141



コーヒーがうまい「工房ぶなの里」

聖湖キャンプ場から車で10分もかからないところが八幡高原。この一帯は、西中国山地国定公園自然環境保全地域だ。したがって大自然そのもの。写真撮影に適うプロ、アマも多数知れず。そんな場所に「工房ぶなの里」がある。水がおいしい。その水でコーヒーを入れる。久しぶりにおいしいコーヒーを飲んだという気になる。周辺には、蕎麦がおいしい茶屋や自然観察のイベントなどを開催している「高原の自然館」がある。冬は、スキー場も近く。



開店／午前9時くらいから、閉店／夕方、客数が途絶えるまで 定休日／木・金曜日 1F/喫茶・小物販売スペース 2F/ギャラリースペース(八幡高原の写真などを制作が1ヶ月交代で展示中) メニュー／コーヒー400円(手作りジャムとフランスパン付き)その他ジュースなど 軽食

①知人から130万円で購入したキャンピングカー。子どもと共に津山市から参加。
②6人乗車、4人就寝仕様の室内。雨が降っても快適。2台あった乗用車のうち、軽を残してこの車を選んだ。



走る家は、人生を彩る 最適の道具だ。

メーンイベントは、やは

り夜の食事だ。「餃

子パーティーだぞ」と

手作り餃子の準備が

始まった。「毎回、味

が違うんだけどね」。

そこがまた楽しい

ところ。罰ゲーム的

あんこ入り餃子やカラシ入り餃子

も作る。「誰に当たるかな」と最

初は、誰も自分が当たるなんて考

えない。具の包み方がうまいだの

下手だのワイワイ。そのうち津山

市や福山市のメンバーも合流。ブ

ドウやワイン、焼き鳥に新鮮な鳥

貝の刺身など、差し入れもたっぷり。

さらに餃子づくりにも加わり、パ

ーと一緒に作

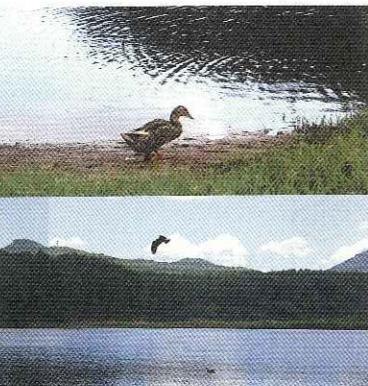
る。これが

まさに「

人生を彩る

最適の道具だ。

メーンイベントは、やは
り夜の食事だ。「餃
子パーティーだぞ」と
手作り餃子の準備が
始まった。「毎回、味
が違うんだけどね」。
そこがまた楽しい
ところ。罰ゲーム的
あんこ入り餃子やカラシ入り餃子
も作る。「誰に当たるかな」と最
初は、誰も自分が当たるなんて考
えない。具の包み方がうまいだの
下手だのワイワイ。そのうち津山
市や福山市のメンバーも合流。ブ
ドウやワイン、焼き鳥に新鮮な鳥
貝の刺身など、差し入れもたっぷり。
さらに餃子づくりにも加わり、パ
ーと一緒に作
る。これが
まさに「
人生を彩る
最適の道具だ。



ティーの準備がキャンピングカーの
中と外でにぎやかに進められた。
シンクもコンロも付いているのだ
からキャンピングカーはやはり便
利だ。しかし維持費はどのくらい
かかるのか。「税金や車検も普通
車と同じくらいかな」。1人で所
有する人もいるが仲間数人で所
有することもあるという。問題は、
やはり駐車場。今は、ワンボック
スタイルや軽もあるよ」。キャンピ
ングカー探しも選択肢が広がって
いる。餃子もそろそろ焼き上がり、
パーティーに突入。親父ギャグも連
続発の楽しい晚餐となつた。

大の大人が無邪気に飲んで食つ

て大いに語る。疲れたたらキャンピ

ングカーのベッドで眠る。お気楽と思

われるかもしれないが世の中には
「衆生所遊樂」という奥深い言葉もある。人生の彩りにキャンピ



③キャンピングカー内のキッチンが大活躍。コンパクトだけど調理に支障はない。

④アウトドアでの料理は、男が主役。女性は、この時ばかりはお客様。これは、全国的にそういうルールなのだ。

⑤罰ゲームの餃子も紛れ込んでいた手作り餃子の出来上がり。ドキドキもだがワクワクものもある。



5



30年来の仲間たちでアウトドアライフを満喫するグループ同行した。キャンピングカーライフもベランの方々。出発の前に愛車を点検。ガスピボンベは? 食料は? 忘れてならないのがビール! 足らない食材をスーパーで補充し、目的地の聖湖キャンプ場に向けて出発。キャンピングカーは、ロデオキャン



①出発前は点検が大切。食材の内、調味料の忘れ物が意外と多い。
②7人乗車の5人就寝が標準仕様のロデオキャンパー。オークションで110万円で購入したそうだ。

リクリエーション代の熱い注目を集めているものの1つにキャンピングカーがある。いざれは持つてみたい。そう思われる魅力がキャンピングカーにはある。何事もまずは体験。日ごろからキャンピングカーライフを楽しんでいるベテラン勢に集まつていただいた。

バードという車。車重がありそうだ
が、意外と走りが速い。「でも坂道
は、さすがに重いって感じるね。ま
あ、もともとスピードを出すため
の車ではないし」とメンバーの方。
ごもつとも。購入方法は、オークシ
ョンや知人間での譲渡などが多い
とか。うまくいけば110万円から
150万円で満足できるキャン
ピングカーが手に入るそうだ。

キャンプ場に到着したら設営開始。といつてもテントキャンプと違つて作業は簡単だ。タープを引き出してテーブルと椅子を出すだけ。さあ、昼食の準備。「じゃあ、作業分担。私食べる人、あなた作る人。あなた飲む人」などと、どこまで本気か分からぬ冗談に笑いながらテキパキと昼食の準備が進む。出来上がったのが激辛ハバネロとニンニクたっぷりのスパゲッティ。あまりの辛さに「殺す気か」と叫び声。「外での食事は、何でもうまいんだ」と別のメンバー。寄つてたかつて作った男たちの料理。「うん、うまい! ?」と目を白黒させながらビールで流し込んだ。



③外にキャンピングス

トープを出してパスタ

をゆでる。アルデンテ

で、と注文が飛ぶ。

④寄つてたかつての料

理。仲間同士での行

動は、本来、全員

参加がルールだ。

⑤激辛ハバネロパスタ

で昼食。

他にサラダ

や白髪ねぎサラダも。

自然の中の食事は、

美味しい。

**憧れに手が届くかも。
キャンピングカーライフを体験。**

